

2010.11.25
東日新聞

章南中ボート転覆死事故で父・西野さん

署名1万6千余人

静岡県浜松市の浜名湖で今年6月、豊橋市章南中学校の自然体験学習中に、最愛の1人娘を亡くした父親の西野友章さん(51) 同市杉山町Ⅱが29日、豊橋市議会(市役所7階)を訪れ、大沢初男議長に「ボート転覆事故の真相究明を求める請願書」を提出した。今月7日から始めた署名活動により、1万6073人の署名が集まり、一緒に添えられた。市教委の24日のまとめを踏まえ、「もっと真相究明した上で、再発防止を考えてほしい」と注文を付けた。(③面に関連)



西野友章さん

紹介議員は10人。会派では公明党、(民主系) まちフオ

ラム、共産党の3会派と、1人会派2人。西野さんは紹介議員の寺本泰之(紘基会)、伊達勲(共産)の各氏らとともに議長応接室を訪れた。机の上に署名簿を積み上げ、その横で大沢議長に対して請願文(表題)を読み上げ、手渡した。「わずか3週間で1万6000人もの署名が集まり、関心の高さに驚いている。うち1万人以上



が豊橋市民。この署名者1人ひとりの思いを代表して、請願したい。思いを重く受け止め、議会できちっと対処してほしい」と願いを込めた。紹介議員を代表して、伊達氏は「全国的に教育施設の管理運営が指定管理者に移る中で起きた大きな問題。学校現場で教訓にすべきだ」、寺本氏は「人災だ。われわれには悲しみを癒やして上げるしかない。特別委員会を設置して、校長(当時)と同じボートに乗って引率していた教員2人の計3人を呼んで、しっかり状況を聞くべきだ」と訴えた。大沢議長は「受理した。12月定例会の福祉教育委員会で審議することになる

う」と説明した。請願事項に、事前の危機予測についてなど8項目を挙げ、「(あらためて調査し、明らかにすること)」としている。(山崎祐一)

【事故の概要】浜名湖で今年6月18日

冬のボーナスはどよしんへ

スーパー定期

★わくわくは当金庫の窓口でお問い合わせください。

おたくも うちも 豊橋信用金庫

http://www.toyo-shin.co.jp

午後3時過ぎ、章南中学校1年92人(2人見学)が4隻のボートに分乗して野外学習中、天候が急変。レスキュー艇が曳(えい)航中に1隻が転覆し、乗っていた西野花菜さん(12)がボートの下になり、発見が遅れて水死した。

真相究明へ請願提出

左
たくさんさんの報道陣を前に請願趣旨を説明する西野さん

感してくれたことの重さ
と信じている」と話して
に、議会が必ず応えてくれ
いた。

橋 市会に「事故の真相究明を」

豊 浜名湖で転覆事故死 生徒の父が請願

今年6月の浜名湖のボート転覆事故で、死亡した豊橋市立章南中1年、西野花菜さん(当時12歳)の父親の会社員友章さん(51)が29日、事故の真相究明を求める請願書を、1万6073人分の署名を添えて同市議会に提出した。

署名は約3週間で集められた。このうち市内の人は1万7800人という。事故を巡っては、市教委が独自調査に基づく再発防止策をまとめているが、遺族側は調査が不十分とし、市議会に対し真相の解明と具体的な安全対策を講じるよう求めている。

請願はこの日、友章さんが市議会を訪れ、大沢初男議長に手渡した。議会側は請願を受理し、福祉教育委員会に付託する。

友章さんは「なぜ危険を想定できなかったのか突き止めない」と再発防止に
ならない。多くの市民が共

請願書は大沢議長に提出する父親の友章さん(右)



請願書は大沢議長に提出する父親の友章さん(右)

2010.11.30 3河
(火曜日) 豊橋市議会 衆議院

2010.11.30 毎日

署名簿添え請願書

事故・転覆・湖名 2010.11.30 毎日
真相解明求め 死亡の西野さん父
豊橋市議会に

静岡県浜名湖で6月に起きた手こぎボート転覆事故で亡くなった豊橋市立章南中学校1年生、西野花菜さん(当時12歳)の父友章さん(51)が29日、事故の真相解明と再発防止・安全対策を求める請願書を署名簿を添えて市議会に提出した。友章さんは約3週間

にわたって署名活動を行い、市外在住者5200人余りを含む1万



1万6000人余りの署名簿を携えて市議会を訪れた西野友章さん(右)

6073人の署名を集めた。大沢初男議長に請願書と署名簿を手渡して「署名いただいた一人一人の思いを代表して来ました。議会の中で調査していただきたい」と語った。

請願書では、ボート訓練計画段階で想定した危機予測の内容や転覆を想定できなかった理由——など8項目について調査を求めた。

友章さんはまた、24日に運輸安全委員会が公表した「えい航手法に問題があった」とする事故調査の報告について「天候のせいではなく、ますます人災の色が強いと感じた」と語った。【沢田均】

浜名湖事故

8項目の調査要求

遺族 豊橋市議会に請願書

浜松市の浜名湖で6月、自然体験学習中だった豊橋市立章南中学校の手こぎボートが転覆し、1年の西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故で、父の友章さん(51)は29日、事故原因の調査と真相解明、具体的な再発防止策を講じることを求める請願書を、1万6073人分の署名とともに同市議会に提出した。受け取った大沢初男議長は「議会として受理いたしました」と応じた。請願は福祉教育委員会などで審査される。事故の再発防止策などを議題とした24日の同委員会を傍聴した友章さんは、市教委が提出した文書に対し「学校関係者の対応が何も見えず、再発防止策を議論できる段階にない」として、請願書では新たに8項目を調査し、明らかにするよう求めた。8項目の内容は事前の危険予測、転覆事故発生後の対応など。



1万6千を超える署名と請願書を大沢初男豊橋市議長に手渡す西野花章さん(右)＝豊橋市役所

なかった理由」「教育関係者以外の目からのチェック体制」——など市教委や学校側に対する15の疑問点も明記して説明を求めた。

友章さんは「何で教育現場の安全意識は希薄で、何でも想定していなかったのか。それぞれの局面でより深く調査して、その結果を基に再発防止の議論をしてほしい」と話した。(山田雄介)

「検証を」署名提出

転覆ボート死亡中1父、豊橋市議会に
浜松市の浜名湖で6月、野外教育活動中のボートが転覆し、愛知県豊橋市章南中一年の西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故で、花菜さんの父親友章さん(51)が29日、事故の真相究明を求める請願書と一万六千七十三人分の署名

男議長に文書や署名を提出し「多くの市民が真相究明を求めている。その声の重さを認識し、市と教育委員会が協力して再発防止に努めてほしい」と要望。記者団に「学校は(転覆を予期しておらず)計画段階から危機意識が欠如している。マニュアルを整備しても、また事故が起きる」と市議会での徹底した原因追究を求めた。

2010.11.30
中日

「真相究明」求め8項目

西野さん夫妻「納得できない」

章南中ボート
転覆死事故

「豊橋市立章南中学校自然体験学習におけるボート転覆事故の真相究明を求める請願書」は両親である西野友章、光美さん両名の連名になっている。請願趣旨は次の通り。

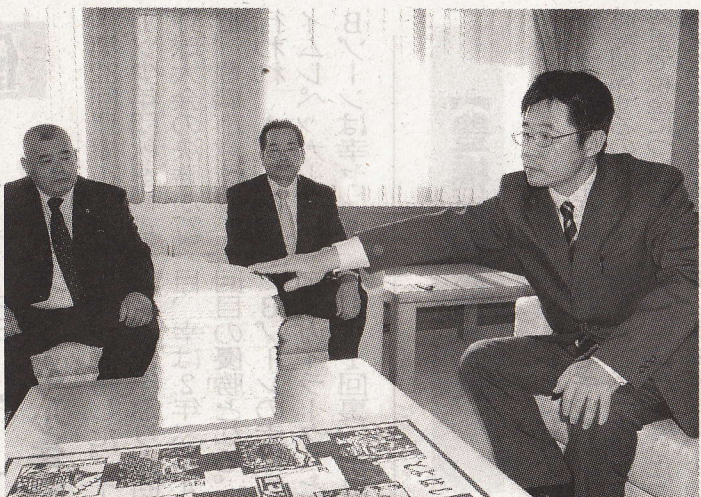
今年6月17日の「行って来ます」行った私たちの娘、朝、「行って来ます」

花菜は翌18日に2度と帰れなくなった。5カ月以上たった今も、娘が亡くなった現実を受け入れることができない。なんの落ち度もない娘が、学校教育の場でのいのちをなくしてしまったのか、悲しい気持ちでいっぱい。

ないよつにすることだと考えた。花菜は、先生が必ず助けてくれると信じていたと思う。しかし、少しずつ事実が明らかになるにつれ、教育現場に危機管理意識が希薄だったことが明確になってきた。豊橋市および市教委は、大切な子どものいのちを預かるという認識が薄いと感じた。

今、私たちに何ができるのか、何をしなければならぬのかを考えたとき、12歳の若い命がなぜ失われたことになってしまったのか、その原因を明らかにして、2度と繰り返さ

親は、大切な子どもを静岡県の三ヶ日青年の家に預けたのではなく、豊橋市および市教委に預けたので、その責任ある立場での、ボート転覆事故に対する事故現場の実態や問題が



西野さんが署名簿を大沢議長に届けた

どこにあったのかを知りたい。

花菜の父母として、ボート訓練を計画した時点における事前の危機予測の内容や、ボート転覆事故発生後の学校関係者の対応などの実態

を把握しない限り、再発防止も含めた「次へ」という気持ちにどうしてもなれない。

どうか皆様の温かいお力を貸してください。

◇

豊橋市議会が 請願趣旨採択

豊橋市議会は24日の12月定例会本会議で、6月の浜名湖ボート転覆事故で亡くなった西野花菜さん(当時12)の両親が真相究明などを求めた請願

を賛成多数で趣旨採択した。

本会議では採決に先立ち、渡辺則子市議(無所属・とよはし市議会)は「両親が早い段階から求めている文書による対応が遅れたことについて、(市教委は)説明責任も含めて認めなければいけない」と発言。趣旨採択ではなく、両親の請願通りの採択を

求めた。「趣旨採択」について渡辺市議は「請願の考えは分かるので不採択にはできない。ただ、請願で求めていることを実現するのは難しい。白か黒かではなくグレーゾーンの位置づけ」と解説した。花菜さんの父・友章さん(51)は11月末に事故原因の調査と真相究明、具体的な再発

防止策を講じることを求める請願書を、1万6073人分の署名とともに市議会に提出。「各艇ごとの乗船名簿を作成していなかった理由」や「三ヶ日青年の家の訓練が今年度、民間委託に変更されたが、事前にどんな危機予測をしていたのか」など15の疑問点について説明を求めている。

2010.11.30

2010.12.25
朝日

豊橋章南中ボート事故

真相究明求め請願書

娘を亡くした西野さんが市議会へ

1万6000人分の署名添えて

6月18日に浜名湖で起きたカッターボート転覆事故で長女の花菜さん(当時12歳)を失った西野友章さん(52)が29日、1万6073人分の賛同署名を添えて「事故の真相究明を求める請願書」を大沢初男豊橋市議会議長に提出した。

請願書では「事前の危機予測」「ボート訓練中止の判断基準」「事故発生後の対応」など8項目についての調査を要望した。

具体的には、ボート訓練の計画段階で学校側は転覆を想定していたか▽三ヶ日青年の家の管理は今年4月に県から民間に移っているが、そのことを危機予測に含めていたか▽雨が降って嫌がる生徒が

いたのに訓練を強行した理由はなぜか▽事故発生後に校長や引率教師らはどのような行動を取ったか▽なぜ各艇の乗船名簿を作成していなかったのかなど。請願書を手渡すにあ

たつて西野さんは「短期間に1万6073人分の署名が集まったのは、市民の関心の表れ。市議会は、こうした市民のためにも事故の真相を明らかにしていただきたい」と言葉を添えた。

受け取った大沢議長は「署名は1人ひとりの意思として受け止め、しっかりと検討する」と応えた。

請願内容は今後、福祉教育委員会などで検討した後、12月議会で採択するかどうかを決める。

紹介議員の1人、伊達勲議員(共産)は「訓練施設の管理が今年4月に静岡県から民間に移ったことも原因の1つと考える。その観点からも事故原因の究明は必要だ」とし、同じく寺本泰之議員(絆基会)は「議会は特別委員会を設置し、当時の

大沢議長④に事故の真相究明を求める請願書を手渡す西野さん＝豊橋市役所で

相究明には及び腰。市議会には、娘のためだけに「ほしい」と期待を寄せて。多くの市民